

【 目 次 】

I	提言の要約	・・・	1
	・ 現状 ・ 課題 ・ 目標		
	・ 政策提言 ・ 効果		
	・ 耕作放棄地防止に向けた取組について		
II	提言1：農地の高度利用	・・・	5
	・ 民間企業等を活用した農地の高度利用の支援。		
	・ 農地の高度利用・高収益作物作付の支援。		
III	提言2：耕作放棄地の再生	・・・	8
	・ 耕作放棄地の利活用を図るため基盤整備の支援。		
	・ 民間企業等への農地流動化（賃貸借）の支援。		
IV	提言3：耕作放棄地の転用	・・・	10
	・ 民間企業を活用した、耕作放棄地の転用支援。		
V	資料集	・・・	11

提言の要約

～ 農地の高度利用と耕作放棄地の再生に向けた取組みについて ～

現状

農地面積が減少する中で、耕作放棄地は増加

農業従事者の高齢化及び担い手としての後継者不足

安価な外国産農作物の輸入による農作物の価格低迷、生産コスト高による農業所得の減少

食糧自給率の低下

課題

従来の小規模の個人経営から、法人経営への移行を目指し、農地の集積を図ることで規模拡大し、農業所得の向上を図ることが必要である。また、高収益作物を取り入れた農地の高度利用や再生を行うことにより、耕作放棄地を減少させ、農業振興の活性化が課題となっている。
なお、回復不能な農地の新たな活用についても合わせて課題となっている

目標

民間企業の参入による農地の高度利用をすすめ、地域の農業を活性化させるとともに、耕作放棄地の再生や耕作放棄地を利用した景観づくりを行い耕作放棄地を10年後に半減させる。

政策提言

- 1 農地の高度利用（民間企業の参入、高収益作物導入）
- 2 耕作放棄地の再生（圃場整備への支援、農地流動化への支援）
- 3 耕作放棄地の転用（農村公園への整備等）

効果

- ・ TPPなど国際競争力に対応した農業の活性化が可能となる。
- ・ 耕作放棄地をなくし、農地の有効活用を行うことにより魅力ある農業につながり、農業所得の向上につながる。